

加賀乙彦を読む 「永遠の都」

山本芳樹 ~ Studio Life ~

笠原浩夫 ~ Studio Life ~

矢代朝子

1998年に出版された加賀乙彦の代表作『永遠の都』は、歴史的時間の中に複数の家族の運命の物語を絡ませた、全7巻にも及ぶ大河小説の系譜を持つ雄大な作品です。同作品は今秋、ロシアでの刊行も決定するなど、再注目されています。

今回は作者監修のもと第6章、第7章を取り上げ、第2次世界大戦に日本が敗北した昭和20年の両親とその息子の物語として朗読劇にいたします。作者の分身とも言える小暮悠太、その父悠次、母初江、今から74年前の名古屋、東京、金沢におけるそれぞれの生活から見えてくるものは何か。「戦争という現象の真実を、忘れえぬ普遍的な表現に結実させるのが自身の使命」と言う加賀乙彦の思いで書かれた作品に、今年8度目の夏を迎える軽井沢演劇部が全力で取り組みます。

朗読劇『永遠の都』 - 昭和20年8月 -

第6章「炎都」・第7章「異郷」より

2019年 8月3日(土) - 高原文庫の会※ - 17:30

8月4日(日) 13:00 17:00

出演：山本芳樹 (Studio Life) ・笠原浩夫 (Studio Life) ・矢代朝子

会場：軽井沢タリアセン内 旧朝吹山荘「睡鳩荘」

定員：各回50名 自由席 ※開場は開演30分前より

料金：4,000円(軽井沢タリアセン入園含む) ドリンクサービス付

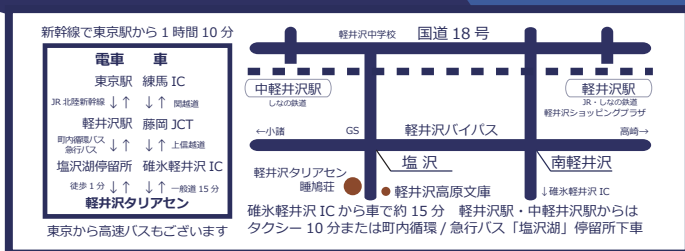
- 予約方法 メール、FAX タイトルに「8月朗読会」とご記入頂き、①希望日時 ②人数 ③お名前(フリガナ) ④ご住所 ⑤返信用メールアドレス、FAX番号、ご連絡先電話番号以上を明記の上、以下にお送りください。受付1週間以内に、確認メール、FAXを返信いたします。

Eメール kogebunko@yahoo.co.jp FAX 0267-45-6626

○ 予約開始 5月1日(水) 9:00 ~ Eメール、FAXのみで受け付けます

お知らせ

※ 8月3日(土) 13:00 『軽井沢高原文庫の会』で同出演者による別プログラムの朗読をおこないます。この催しの詳細およびご予約方法は軽井沢高原文庫ホームページをご覧ください。



軽井沢高原文庫 <http://kogebunko.jp>

〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町長倉 202-3